

◎〔商品先物情報〕東京金、先ざりが4500円上抜く展開に＝NY堅調が支え

23日午前の東京金は、寄り後、水準を切り上げている。中心限月2018年4月先ざりは、午前10時25分現在、前日比16円高の4494円の出合い。取引中のニューヨーク金先物相場が底堅く推移していることから、強気買いが入っているようだ。商品アナリストは「NYは先高が見込まれ、東京（先ざり）は4500円を上抜く」と観測している。

バーグインベストの吉中晋吾代表は「（金融市場全般を見て）金の存在感が強い」と話す。ロシアゲート疑惑やコミー前連邦捜査局（FBI）長官の突然の解雇など、トランプ米大統領の政権運営に対する不信感の根強さが、金相場を支えている。また、北朝鮮の弾道ミサイル発射や英マンチェスターのコンサート会場でテロとみられる爆発が発生したことも、安全資産としての金買いにつながるということが、その背景にある。

NY金（中心限月の継続足）は9日の安値1214.30ドルを当面の底に切り返し、17日には上値の壁とされた1250ドルを突破。さらに、18日には安値から4.2%高の1265.00ドルまで上昇した。上げ足の速さや高値を警戒する売りなどに、再び1250ドルを割り込む可能性も指摘されるが、吉中氏は「1250ドル以下の押し目は拾っていくのが適当」と、強気を貫く考えだ。（了）

[/20170523CCC0036]